

久保栄作「林檎園日記」上演事業 記録

北翔大学北方圏学術情報センターポルト 舞台芸術研究グループ（以下、研究G）では、二〇一六年ごろより、二〇一八年に没後六〇年を迎える久保栄の作品を上演する企画を立てていた。二〇一七年の後半になり、札幌市平岸の林檎園をモデルとした「林檎園日記」を上演することを決め、実行委員会を立ち上げ、公益財団法人北海道文化財団の助成をうけて二〇一八年六月に「林檎園日記の上演」、「久保栄回顧展」、「久保栄に関する講演」の三つの事業を行うこととした。その事業の記録を掲載する。

久保栄作「林檎園日記」上演事業

主催 久保栄作品上演実行委員会

共催（公財）北海道文化財団、北翔大学

後援 北海道、札幌市、北海道教育委員会、札幌市教育委員会

協賛 北海道高等学校文化連盟石狩支部演劇専門部

協賛 淑翠会（北翔大学同窓会）、北海道ドレスメーカー学院

協力 ケイズサウンド株式会社

協力 北翔大学 芸術学科 短期大学部ライフデザイン学科

協力 札幌モーターニングロータリー、札幌西北ロータリー

寄付 クラウドファンディングのパトロンの皆様

個人寄付の皆様

（事業内容）

平成三〇年に没後六〇年となる北海道ゆかりの劇作家「久保栄」の「林檎園日記」演劇公演や講演、回顧展を行った。近年風化しつつある久保栄の功績を再評価するきっかけとするとともに、道内の演劇関係者が集結し、久保栄を多角的に紹介した。

○「林檎園日記」の上演

作 久保栄 演出 森一生

二〇一八年六月二三日（土）一四時開演

二〇一八年六月二四日（日）一四時開演

北翔大学北方圏学術情報センターポルト ポルトホール

前売 一般二八〇〇円、学生一〇〇〇円

当日 一般三〇〇〇円、学生二五〇〇円

出演者

※中学生・高校生招待枠（一〇〇席〜一五〇席）を設け、若年世代に道内ゆかりの演劇作品にふれる機会とした。

寿々々 小山由美子 FAP'S 企画

正義 城島イケル 劇団にれ

信胤 平井伸之 北翔大学短期大学部講師、研究G

道子 野田頭希 研究G、劇団B・Stage

継男 百島匡 北翔大学芸術学科四年生

幸彦 鎌田脩平 北翔大学芸術学科四年生

志津子 田中伶奈 劇団B・Stage

源三郎 松本直人 東区市民劇団オニオン座

今朝吉 猪股五郎 北翔大学非常勤講師、HGHJ

トメ 佳猫まいか 演劇集団「遊戯坊」

郵便配達 佐藤潤一朗 北翔大学芸術学科卒業生

他 小林なるみ 北翔大学非常勤講師、劇団回帰線

塩田 蒼唯 北翔大学短期大学部

石川 優里 ライフデザイン学科二年生

木下 優里奈 北翔大学芸術学科一年生

富井 昭次 北翔大学非常勤講師、フリー

スタッフ

照明 鈴木 静悟

作曲・音響 富井 昭次

音響オペレーター

北翔大学非常勤講師、株式会社ジョーダマン

奥山 奈々
音響 服部 正巳

イナダ組
北翔大学非常勤講師、
STAGE CONSULTING CO. LTD

舞台美術

福田 恭一
北翔大学非常勤講師、福田舞台

メイク・ヘアメイク

藤原 宏行
北翔大学非常勤講師、フリー

衣装

福田 玲子
北翔大学教授

特殊効果

大信田静子
北翔大学教授

情宣・映像

吉田ひでお
北翔大学非常勤講師、アールオエ工房

舞台係

森井 綾
北翔大学准教授

野澤 未来
北翔大学芸術学科一年生

松山 千尋
北翔大学芸術学科一年生

美濃 杏香
北翔大学芸術学科一年生

○講演

『二世紀に生きる久保栄——『林檎園日記』の今』

講演者 井上理恵氏

(桐朋学園芸術短期大学特任教授、日本演劇学会理事・副会長)
二〇一八年六月二三日(土)一六時四五分開演

北翔大学北方圏学術情報センターポルト ポルトホール

料金 無料

○久保栄回顧展

二〇一八年六月一八日(月)から二四日(日)

九時～二〇時(最終日一七時)

北翔大学北方圏学術情報センターポルト ギャラリーA

料金 無料

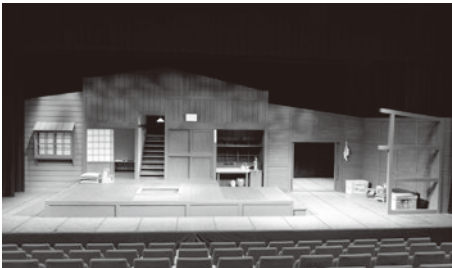
「久保栄作品上演実行委員会」

委員長 森 一生

委員 工藤 正廣

北翔大学客員教授、研究 G

(公財)北海道文学館理事長



「林檎園日記」舞台美術【撮影 高橋克己】



講演会【撮影 高橋克己】

事務局

平原 一良
飯塚 優子
中島 憲
中瀬 勇介
山本 博康

(公財)北海道文学館副理事長
レッドベリースタジオ主宰
全国高等学校演劇協議会事務局
高文連石狩支会演劇専門部事務局
北海道中学生演劇発表大会
実行委員会事務局
札幌市中学校文化連盟演劇専門
委員会委員長
札幌市中学校文化連盟演劇専門
委員会副委員長・事務局
研究 G
明治大学文学部文学科准教授、研究 G
研究 G
劇団 B・Stage
北翔大学芸術学科四年生

久保栄回顧展



回顧展（北海道文学館）【撮影 岩男里奈】



文献展示（久保栄研究等）【撮影 岩男里奈】



原稿、フライヤー、舞台スケッチ等（北海道文学館）【撮影 岩男里奈】

公益財団法人北海道文学館の協力を得て、三〇点に及ぶ文学館所蔵の資料（複製含む）の展示や、森一生氏による市民講座で使用した資料、高文連石狩支部演劇専門部合同公演「第一〇回『火山灰地 第一部』（一九七八年）、第二回『火山灰地 第二部』（一九八〇年）の資料や写真等を展示し、久保栄とその作品、あゆみを紹介した。また、JAさつばろや札幌市立平岸小学校蔵の昭和初期の平岸林檎園の写真も展示した。

公益財団法人北海道文学館の丹伊田さんを始めスタッフの方々は、お忙しい中、展示ケースの貸し出し、資料複製制作、展示の搬入搬出等々、多大のご協力をいただきました。本当にありがとうございました。



高文連火山灰地【撮影 高橋克己】



昭和初期の平岸の様子【撮影 岩男里奈】



「林檎園日記」
【撮影 高橋克己】



「林檎園日記」【撮影 高橋克己】

林檎園日記



「林檎園日記」
【撮影 岩男里奈】



「林檎園日記」【撮影 高橋克己】

講演（講演者 井上理恵氏）

「二世紀に生きる久保栄——『林檎園日記』の今」

井上理恵氏 略歴

近現代演劇・戯曲の研究者。

日本演劇学会理事（副会長、二〇〇〇年～現在）、日本近代演劇史研究会代表（二〇一〇年～現在）、日本文藝家協会会員、有島武郎研究会会員、吉備国際大学教授（一九九五～二〇一〇）、現在桐朋学園芸術短期大学特別招聘教授。

著作に『久保栄の世界』（一九八九年）、『戯曲 火山灰地』編 解説・解題（一九九二年）、『近代演劇の扉をあける』（一九九九年）第三回日本演劇学会河竹賞受賞、『菊田一夫の仕事 浅草・日比谷・宝塚』（二〇一一年）、『木下順二の世界』（二〇一四年）、『川上音二郎と貞奴 明治の演劇はじまる』（二〇一五年二月）、『川上音二郎と貞奴2 世界を巡演する』（二〇一五年二月）、『川上音二郎と貞奴3 ストレイトプレイ登場する』（二〇一八年二月）以上、社会評論社。『久保栄 火山灰地』編 解説・解題（新宿書房二〇〇四年）など多数。

今回の「林檎園日記」の上演は、二〇一六年六月小山由美子さん主催FAP・S企画公演「華々しき一族」（作森本薫演出 森一生）を井上先生が観に来てくださった時の飲み会の話から始まっている。酔った勢いで「よし、二〇一八年、やりましょう」、「林檎園日記」。観に来てくださいよ、約束ですよ・・・」

実際に企画が始まり、井上先生には講演を引き受けてくださった他に、様々な事でご尽力いただきました。井上先生がいらっしゃらなければ、今回の事業は実現できませんでした。

この場をお借りして感謝とお礼を申し上げます。



【撮影 岩男里奈】